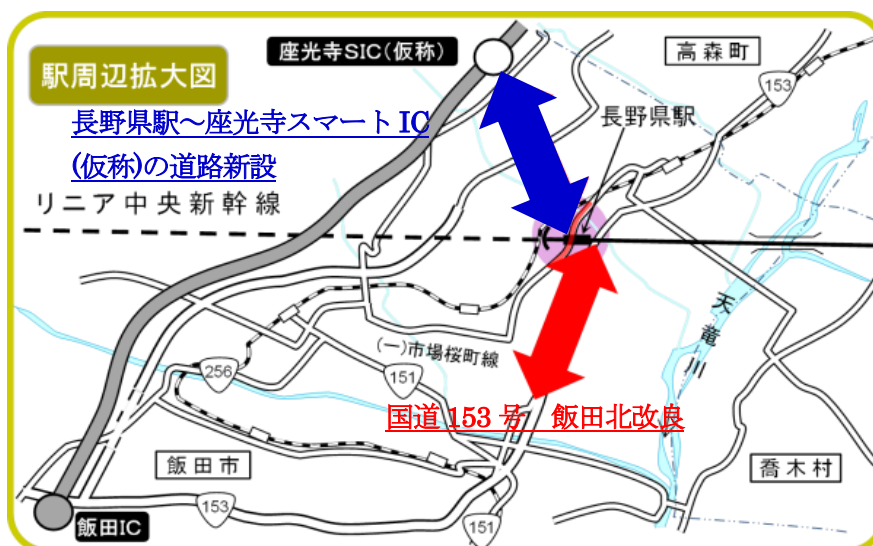


リニア関連道路整備事業の状況について

長野県駅の利便性向上、渋滞緩和を図る周辺整備や高速道路とリニアを一体化する道路整備として、国道153号の飯田北改良（飯田市上郷～座光寺）、長野県駅から座光寺スマートインターチェンジ（仮称）を結ぶ道路の新設について昨年12月に地元説明会を開催しました。



○第1回説明会の状況

- ・平成26年12月9日(火)14:00 飯田市上郷（飯田産業センター）参加者:約300人
- ・平成26年12月9日(火)19:00 // 参加者:約200人
- ・平成26年12月12日(金)19:00 飯田市座光寺（麻績の館）参加者:約150人
- ・平成26年12月13日(土)19:00 // 参加者:約80人

【説明内容】

それぞれ3つのルート帯案を提示し、ルート帯選定時の判断材料となる評価項目を提案した。
（SICアクセス道路については、有力案を提示）
会場での質疑と合わせて意見用紙（上郷、座光寺地区の全戸に配布）により地域からの意見を頂戴した（次回以降の説明会も同様に行う）。

○今後の予定（平成26年度）

- ・第2回説明会（2月上旬：路線ごとに開催）
国道153号 ルート帯の選定案を提示
SICアクセス道路 ルート帯案の決定（決定経過の説明）
- ・第3回説明会（3月中旬：路線ごとに開催）
国道153号 ルート帯案の決定（決定経過の説明）
SICアクセス道路 ルート案（線）の提示

○平成27年度は、ルート案（線）の調査、測量・設計を進め道路計画の地元定着を図る。

国道153号 飯田北改良

リニア駅へのアクセス

広域交通・地域振興の拠点として、周辺地域からリニア駅へのアクセス性の向上を図ります。

渋滞の緩和

現在の交通渋滞を緩和します。

安全性の向上

現在の国道153号は十分な幅員が確保されておらず、歩道も狭いため、車両や歩行者等の安全性の向上を図ります。

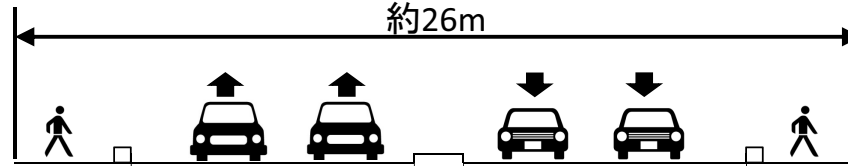
【説明要旨】

整備の目的は、「広域交通・地域振興の拠点として、周辺地域からリニア駅へのアクセス性の向上を図ること」です。

P.1

国道153号 飯田北改良

標準部の幅員
約26m



設計速度 V=60km/h、曲線半径 R≥150m、縦断勾配 i≤5%

【説明要旨】

・整備区間は高屋交差点～県道上飯田線までを対象とし、幅員約26mの4車線道路を想定しています。
・地形の制約や公共施設・史跡など影響を最小限とすべき箇所を考慮して、別紙2の赤色帯の3つのルート帯を提案します。
・Ⅱ案、Ⅲ案のバイパスルートについては、リニア長野県駅へのアクセスを確保するため、接続道路も必要になると考えています。

P.2

ルート選定時の評価項目

国道153号 飯田北改良

- 事業特性(目的達成度、費用、効果)
- 交通機能(ネットワーク、走行性、安全性)
- 沿道環境(沿線への影響、生活環境への影響、自然環境への影響)
- 飯田市のまちづくりとの整合

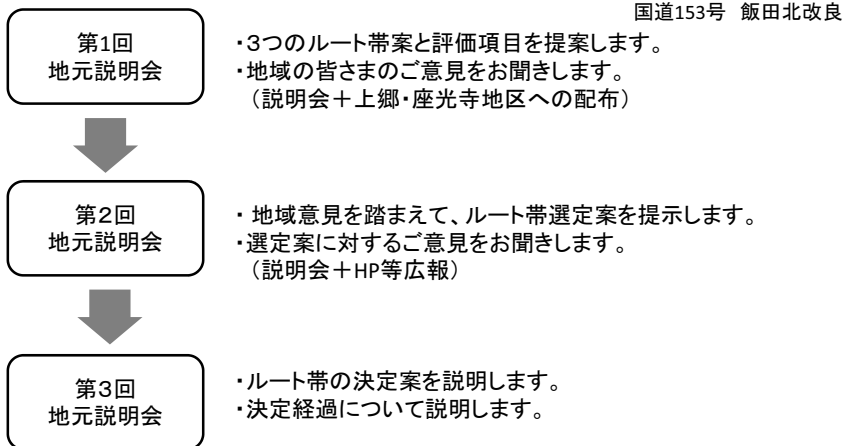
【説明要旨】

ルート帯を選定するための「評価項目」については、事業特性などの4項目について提案します。

P.3

今後の予定

国道153号 飯田北改良



【説明要旨】

今後の予定として、第2回の説明会でルート帯選定案を提示したいと考えております。

P.4

道路整備の目的

長野県駅～座光寺スマートIC(仮称)の道路新設

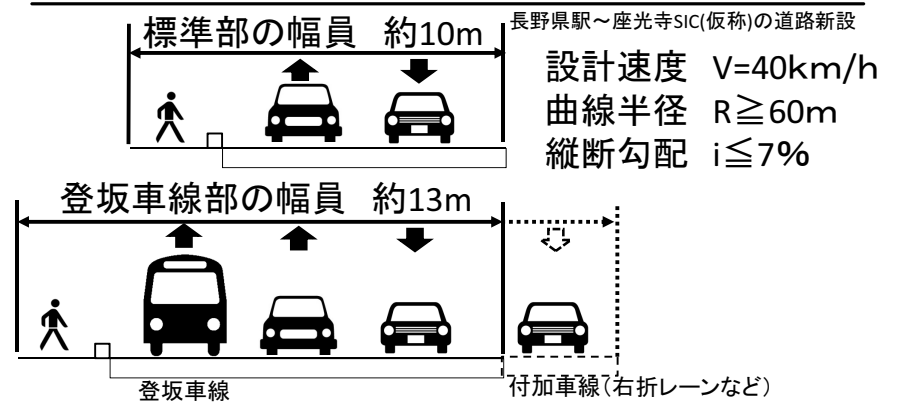
道路の規格

長野県駅～座光寺スマートIC(仮称)の道路新設

高速道路とリニアを一体化	リニアによる時間短縮効果を広範囲に波及させるため、高速道路と長野県駅の直結化を図ります。
速達性の確保	長野県駅とスマートICを短時間で結びアクセス性を高めるとともに、県道・フルーツライン・国道と接続することで地域利便性の向上を図ります。
定時性の確保	信号や踏切等による待ち時間や速度低下を減らし、定時性の確保を目指します。
安全性の確保	車両の安全な走行ができる道路勾配を取り入れ、安全性の確保を図ります。

【説明要旨】
 ・整備の目的は「リニアによる時間短縮効果を広範囲に波及させるための、高速道路と長野県駅の直結化」です。

P.5



【説明要旨】
 ・整備区間は長野県駅周辺の国道～座光寺スマートIC(仮称)までを対象とし、基本幅員約10mの2車線道路を想定しています。但し、縦断勾配が急な箇所への登坂車線や、交差点部等への付加車線設置も検討しています。
 ・地形の制約や公共施設・史跡など影響を最小限とすべき箇所を考慮して、別紙2の青色帯の3つのルート帯を提案します。
 ・地形や費用等を考慮し、A案の土曾川案が有力と考えています。

P.6

ルート選定時の評価項目

長野県駅～座光寺スマートIC(仮称)の道路新設

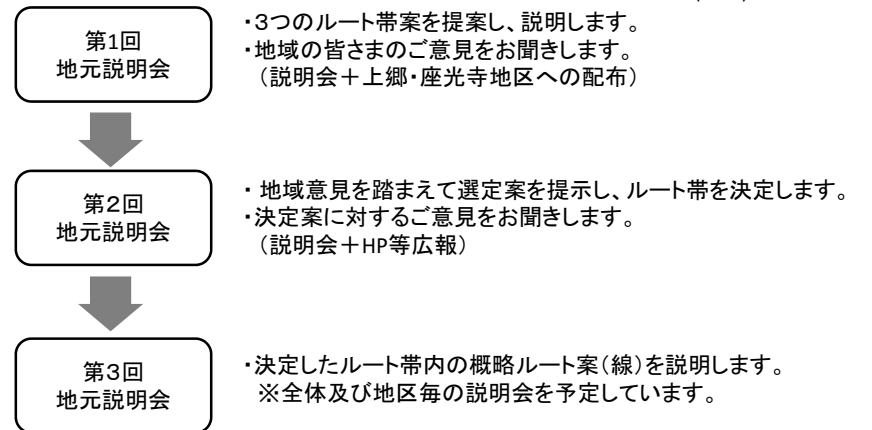
- 事業特性(目的達成度、費用、効果)
- 交通機能(ネットワーク、走行性、安全性)
- 沿道環境(生活環境への影響、自然環境への影響
 史跡・文化財への影響)

【説明要旨】
 ・ルート帯選定時の評価項目について、事業特性などの3項目について提案します。

P.7

今後の予定

長野県駅～座光寺スマートIC(仮称)の道路新設



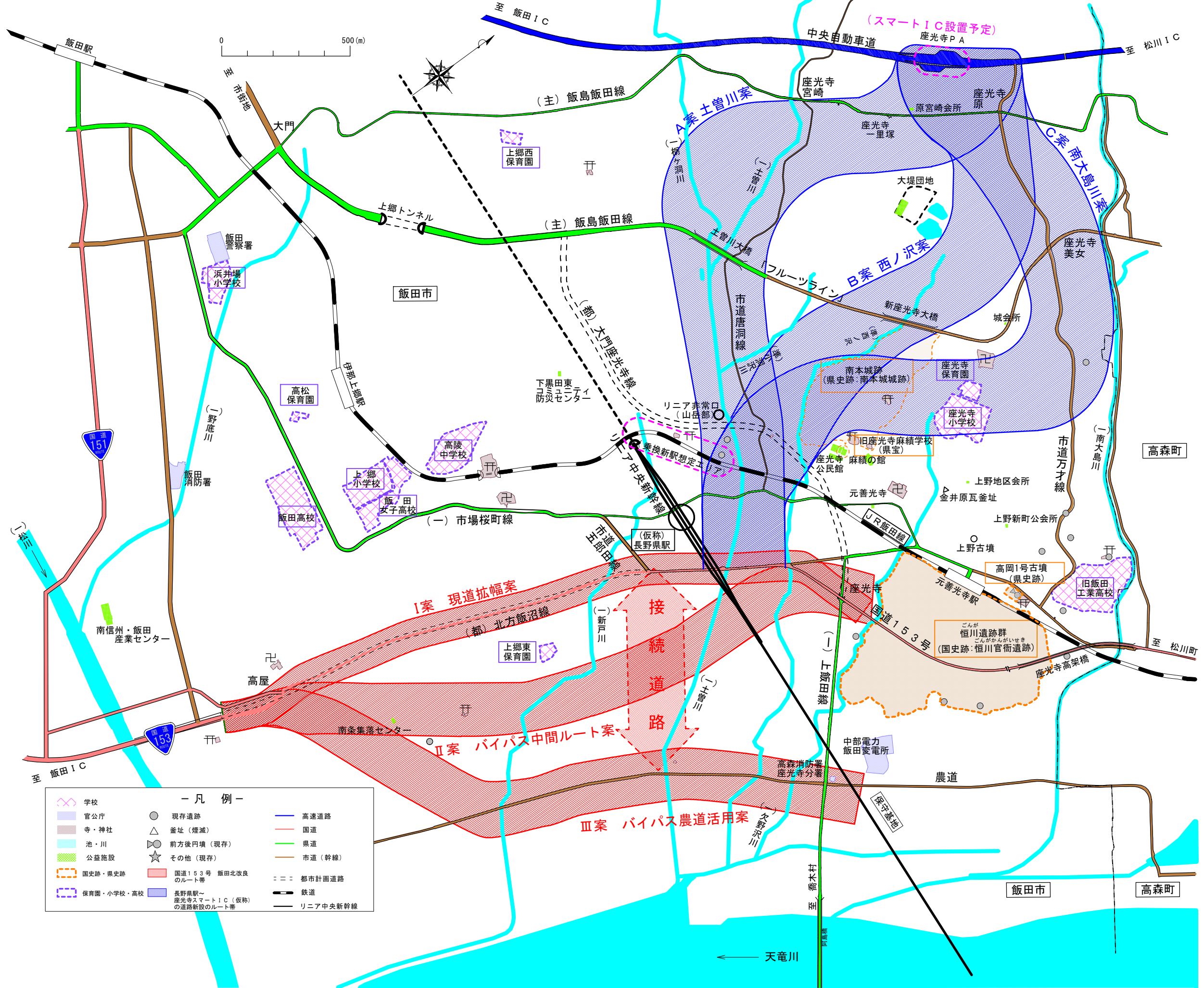
【説明要旨】
 ・今後の予定として、第2回の説明会でルート帯選定案を提示し、ルート帯を決定したいと考えております。

P.8

ルート帯平面図

赤帯：国道153号 飯田北改良のルート帯

青帯：長野県駅～座光寺SIC(仮称)の道路新設のルート帯



— 凡例 —

	学校		現存道跡		高速道路
	官公庁		釜址(煙滅)		国道
	寺・神社		前方後円墳(現存)		県道
	池・川		その他(現存)		市道(幹線)
	公益施設		国道153号 飯田北改良のルート帯		都市計画道路
	国史跡・県史跡		長野県駅～座光寺スマートIC(仮称)の道路新設のルート帯		鉄道
	保育園・小学校・高校				リニア中央新幹線